

平成30年度 事業報告書  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 ECO フューチャーとっとり

## 1 取組成果

鳥取県地球温暖化防止活動推進センター（以下「センター」という。）は、鳥取県における低炭素社会の実現に向けて、人や組織が出会い、対話し、課題解決をするための機会や仕組みをつくることによって、多様な主体の参加による市民力の創出に寄与し、鳥取県における地球温暖化防止活動の推進に貢献することを目的として事業を実施している。

平成30年度は、昨年度に引き続き地球温暖化防止に係る情報の発信や鳥取県地球温暖化防止活動推進員の養成及び活動支援、環境について専門的知識を有し環境教育実践経験のある人材を広く県民に紹介するとっとり環境教育・学習アドバイザー制度の運用等を実施した。また幼稚園児や小学生を対象にした環境教育「ちびっ子エコスタート事業及びエコ活ノート出前教室実施業務」、北栄町民等へ風力発電事業の意義やその特徴等の知識の普及・理解促進を図ることを目的とした「北栄町風力発電普及啓発事業実施業務」、地域における地球温暖化防止活動の基盤を形成することを目的とした「地域における地球温暖化防止活動促進事業」を実施した。

## 2 個別事業

- (1) 地球温暖化防止推進事業等業務
- (2) ちびっ子エコスタート事業及びエコ活ノート出前教室実施業務
- (3) 「夏休み！自由研究再エネ体験ツアー」実施業務
- (4) 地域における地球温暖化防止活動促進事業(環境省補助事業)

以下、個表のとおり

平成30年度鳥取県地球温暖化防止活動推進センター事業報告書（個表）

事業名	地球温暖化防止推進事業等業務
事業内容及び成果等	<p>1 地球温暖化防止推進事業</p> <p>地球温暖化防止は、2015年のパリ協定締結以降世界共通の課題となり、異常気象の頻発を身近に感じる人が多くなった昨今、対策の必要性を理解する人々の声がまとまりつつある。また、SDGsの広がりとともに、温暖化対策を含めた持続可能性に貢献する対策をとった方が経済的にも必要であることを実践する企業なども増えてきた。</p> <p>しかしながら、温暖化対策は経済性や利便性を損なうという意識は依然としてあると同時に、温暖化対策へのネガティブなイメージの払しょくにはさらなる切り口の工夫や仕組みの創設が必要だというのが現状である。</p> <p>一方、これまでの事業成果として、自治体や各種団体とのコミュニケーションを通して培ってきた具体的な対策が、政策に組み入れられるようになってきている。例えば、健康省エネ住宅団体への鳥取県の参画や、移住対策としての遊休不動産の断熱化事業への相談件数の増加などである。このように、効果的で確実な温室効果ガス削減と快適性や経済性の向上とが同時にならう住宅政策において、丁寧に発信しコミットすることが効果的であることが証明されつつある。</p> <p>このようなことから、限られた予算の中で効果的に事業を推進するために、イベントや出前教室などで楽しく学ぶことのできる場を精選し、参加した人には確実に行動変容が期待できるよう、より質の高いプログラムやプレゼン、コミュニケーション、情報を提供するようにした。</p> <p>内容としては、「温暖化対策は生活の質を向上させるとともに地域の持続可能性と繋がっている」ということを少しでも実感できるよう、ターゲットに応じた健康や子育てなどの切り口で伝わるよう留意した。</p> <p>実施に際しては、地球温暖化防止活動推進員の活動支援と連動させながら、市町村の協力を仰ぐ形で連携構築を目指した。また子育て世代や若年層を積極的に活用し、様々な世代に訴求する普及啓発の手法を模索しながら実施した。</p> <p>(1) 家庭・地域で地球温暖化防止につながるライフスタイルやワークスタイルを県内に広く提案し、実践を促すための普及啓発活動</p> <p>ア 地域での温暖化防止活動の情報共有及び県内外への発信 地球温暖化防止に資する情報や地域の取組を、推進員や県内外から発掘・収集し、ニュースレター、ホームページ、新聞紙面等を活用しながら、県内外に情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースレター 4回×500部</li> <li>・ホームページ 随時更新</li> <li>・フェイスブック 随時更新</li> <li>・新聞原稿提供 とっとりエコ検定 2回</li> </ul> <p>イ 昨今の地球温暖化問題に係る国際情勢などの最新情報や行政施策の情報収集及び収集した情報の県民への周知</p>

地球温暖化防止施策や国際情勢など、昨今の情報を収集しメールニュースやホームページ等により情報提供を行った。またイベント参加や出前教室、テレビ取材、新聞等原稿提供を通して、多くの県民に顔の見える距離できめ細かに情報を提供する機会を持った。

- ・メールニュース 発行12回
- ・フェイスブック 更新約60回
- ・ホームページ 更新随時
- ・新聞原稿提供 「気候変動時代を生きる」 10回
- ・イベント等参加 7回

(2) 温暖化防止に係る知識とファシリテーション技術を持ち、地域における温暖化防止活動をリードする県地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）の育成

養成研修は、昨年に引き続き2日間のうち第1日目を必修講座、2日目を選択講座とした。必修講座は、地球温暖化の科学的知見と最新情報、更に地球温暖化防止に関わる地域の実例と環境教育活動の実際を仲間づくりをしながら体験できる内容とした。選択講座は、地域で活動を展開するための具体的な活動を効果的に学ぶため実践型研修とした（新規受講者数20名）。

ア 推進員養成研修の実施

第9期とっとりエコサポーターズ養成研修を、必修講座3回と選択講座3回実施した。

○必修講座（いずれも9:30～16:30）

- ・東部会場 6月2日（土） 公立鳥取環境大学
- ・中部会場 6月6日（木） 鳥取県中部総合事務所
- ・西部会場 6月9日（土） 米子市福祉保健総合センター  
ふれあいの里

○選択講座

- ・東部会場 8月5日（日） 国府町コミュニティーセンター
- ・西部会場 8月1日（火） ヴィレステひえづ
- ・ 8月8日（水） 西部総合事務所
- ・中部会場 8月10日（金） 伯耆しあわせの郷

イ 推進員スキルアップ研修の実施

推進員のスキルアップを図るため、スキルアップ研修会を計9回行った。研修会の企画・実施にあたっては、実際のイベント等でのプログラム作りからイベント当日の実践を通して、推進員同士で伝える技術を高め合えるよう配慮した。

ウ 推進員の活動に対する助言及び支援

推進員の活動を支援するため、エコ端会議等を計6回開催し、指導、助言、協議を行った。

エ 市町村と連携したエネ活（家庭の省エネ・再エネ導入）の促進

推進員不在市町村を中心に、温暖化問題学習会の開催依頼を行った。温暖化問題学習会開催、イベントブース出展に際しては、推進員の活用を図った。

2 とっとり環境教育・学習アドバイザー制度運用事業

環境について専門的知識を有する人材を広く県民に紹介することにより、体験を重視した環境教育を支援し、実践的、主体的な環境学習の促進を図る当制度の運用を以下のように実施した。

(1) アドバイザー制度のPR業務

ホームページやフェイスブックの広報媒体を通じ、制度内容を広く県民に周知した。ホームページは、提出された活動報告を分野別に整理し、環境学習会を開きアドバイザーを招聘したい主催者等がアドバイザーを選定しやすくなるように配慮した。また積極的にアドバイザーの取材を行い、取材内容を元にアドバイザーの紹介をホームページに掲載した。

(2) アドバイザーの人材発掘

今日的な課題に取り組む環境活動実践化を中心に情報収集し、アドバイザー登録を促した（新規登録者2名）

(3) アドバイザーと環境学習主催者との連絡調整業務

環境学習の主催者からアドバイザーの紹介依頼を受けた場合、主催者が予定する学習内容に合致すると思われるアドバイザーを提案した。また、主催者に環境学習を企画するにあたっての助言をし、アドバイザーとの調整の上で主催者に結果を報告し、環境学習会が有意義かつスムーズに開催できるように実施した。

（アドバイザー紹介及び相談件数 16件実施）

(4) アドバイザーの活動状況把握業務

アドバイザーが前年度に活動した概要についてとりまとめ、県に報告した。また、報告した活動概要をホームページ用に編集し、掲載した。

(5) アドバイザーの資質向上研修業務

環境学習会を実施するにあたって必要となる知見と新しい教育に関する情報交換をすることのできる講習会を、青翔開智中学高校の協力で「デザイン思考とESD」を開催した。

・日 時：平成31年2月23日（土）13時00分から16時30分

・会 場：鶏鳴学園青翔開智中学高等学校

・テーマ：デザイン思考とESD

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講 師：青翔開智学園 織田澤氏、ESD 研究所 高橋氏 他</li> <li>・ 目 的：私たちが実践している環境教育が持続可能な地域づくりに今後どう関わっていくのかについて、デザイン思考を取り入れた新しい学びを切り口に情報交換を通して実践者が一緒に考える。</li> </ul>	
事業費（財源）	7,563 千円	
	(支出) 事業費 6,265 千円 管理費 1,298 千円	(収入) 事業収入 7,563 千円 (鳥取県委託料)

事業名	ちびっ子エコスタート事業及びエコ活ノート出前教室実施業務
事業内容及び成果等	<p>1 ちびっ子エコスタート事業</p> <p>幼児期から環境を大切にすることを育むため、幼稚園、保育園及び認定子ども園（以下「幼稚園等」という。）の園児、職員等を対象とした環境学習会に講師を派遣することにより、園児、職員及び保護者へのエコ育（幼稚園等や家庭での生活をエコの視点で見直し、人間も自然の一部であることに気づき、しっかりと生活リズムを身に付けること）の啓発を図った。</p> <p>(1) 園長等向け環境学習研修会 協議の上、集合研修に替え、各園への案内資料を作成して配布した。</p> <p>(2) 園児向け環境学習研修会 幼児が環境を大切にすることを育むには、周りの大人の理解による率先行動が不可欠である。そこで、園全体でエコ育を十分に理解したうえで取組めるよう打ち合わせを重視した。また、園と家庭が連携して取組めるよう、保護者研修の実施に向け助言を行った。園児に対しては、博士や動物たちが出てくる劇を通して楽しくエコを身に付けたり、大きな地球にふれる印象的な体験をしたりして、環境を大切にすることを育めるよう配慮した。</p> <p>&lt;ちびっこエコスタート（環境学習会）実施概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコ劇場 9 園 (605 名)</li> <li>・ 職員研修 3 園 (65 名)</li> <li>・ 保護者研修 (160 名)</li> </ul>

	<p>2 エコ活ノート出前教室実施業務</p> <p>家庭で取り組んでほしい環境に配慮した活動をまとめたエコ活ノートを教材にして、小学校に講師を派遣して出前教室を実施することにより、小学生及びその保護者へのエコ活（資源を大切に環境に配慮した生活を行うこと）の啓発を図った。</p> <p>実施にあたっては、担任との打ち合わせを行い、各学級の実態に合わせた指導を行うことで、エコ活により意欲的に取り組めるよう配慮した。</p> <p>&lt;エコ活出前教室実施小学校&gt;  尚徳小学校、若桜学園、八幡小学校、津ノ井小学校、大正小学校、河原第一小学校、日吉津小学校、福生東小学校</p>	
事業費（財源）	1,410千円	
	（支出） 事業費 1,129千円 管理費 75千円	（収入） 事業収入 1,410千円 （鳥取県委託料）

事業名	「夏休み！自由研究再エネ体験ツアー」等環境教育実施業務
事業内容及び成果等	<p>鳥取県最大の資源である豊かな自然が生み出す多種多様な再生可能エネルギーについて、未来を担う子ども達が体験、学習する場を設け、環境意識の醸成や環境活動の推進を図った。</p> <p>1 概要</p> <p>小学生を対象に、再生可能エネルギーをテーマとした夏休みの自由研究を作成する体験型講座を4コース（西部2コース、中部1コース、東部1コース）設け、各コースにおいて施設見学、環境教室（ストップ温暖化教室）、ソーラー行灯工作又はエコクッキング、自然エネルギークイズを実施した。</p> <p>講座実施後は、その概要を鳥取県地球温暖化防止活動推進センターホームページに掲載した。また、参加者にアンケート調査を行なった。</p> <p>2 各コースの概要</p> <p>(1) 西部Aコース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成30年8月7日（火）9：00～17：00</li> <li>・参加人数：計40名（小学生30名、スタッフ10名）</li> <li>・概要  見学施設（株式会社ミヨシ産業太陽光発電所、新幡郷水力発電所）、ストップ温暖化教室（ヴィレステひえづ）、ソーラー行灯工作、自由研究まとめ</li> </ul> <p>(2) 西部Bコース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成30年8月8日（水）8：20～17：00</li> <li>・参加人数：計42名（小学生30名、スタッフ11名、県職員1名）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概要 見学施設（道の駅にちなん日野川の郷、日南町石見東太陽光発電所）、ストップ温暖化教室（西部総合事務所）、ソーラー行灯工作、自由研究まとめ</li> </ul> <p>(3) 中部コース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成30年8月10日（金）9：00～17：00</li> <li>・参加人数：計41名（小学生28名、スタッフ12名、県職員1名）</li> <li>・概要 見学施設（高千穂太陽光発電所（エナテクス）、北条砂丘風力発電所、湯梨浜地熱発電所）、ストップ温暖化教室（湯梨浜町中央公民館）、エコッキング、自由研究まとめ</li> </ul> <p>(4) 東部コース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成30年8月5日（木）8：20～17：00</li> <li>・参加人数：計42名（小学生28名、スタッフ13名、県職員1名）</li> <li>・概要 見学施設（鳥取放牧場風力太陽光発電所、袋川発電所）、ストップ温暖化教室（国府コミュニティセンター）、エコッキング、自由研究まとめ</li> </ul> <p>3 参加者アンケート調査</p> <p>「夏休み！自由研究再エネ体験ツアー」が、参加者の環境意識の醸成や環境活動の推進に繋がったかどうかを確認するためのアンケート調査を実施した。調査方法は、ツアー終了後に往復葉書にて簡易な質問をし、当センターに返信されたものを集計対象とした。</p> <p>(送付数110件 回答数43件 回答率39%)</p> <p>その結果、「自然エネルギーのことが分かった」(100%)、「ツアーで作成した自由研究ポスターを学校へ提出した参加者」(100%)等の成果を得ることができた。</p>							
事業費（財源）	<p>2,800 千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">(支出)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">(収入)</td> </tr> <tr> <td>事業費 2,384 千円</td> <td>事業収入 2,800 千円</td> </tr> <tr> <td>管理費 327 千円</td> <td>(鳥取県委託料)</td> </tr> </table>		(支出)	(収入)	事業費 2,384 千円	事業収入 2,800 千円	管理費 327 千円	(鳥取県委託料)
(支出)	(収入)							
事業費 2,384 千円	事業収入 2,800 千円							
管理費 327 千円	(鳥取県委託料)							

事業名	地域における地球温暖化防止活動促進事業
事業内容及び成果等	<p>地域におけるエネルギー起源二酸化炭素排出抑制を図るためには、地域における日常生活に関する温室効果ガスの排出の実態把握及び普及啓発に関して、地球温暖化防止活動推進員等と連携した調査の実施、並びにこれらの情報収集提供・普及啓発・広報活動が必要となる。このことから地域の関係主体との効果的な連携、連絡調整等を通じて、当センター事業の一層の円滑化と促進を図り、地域における活動の基盤を形成することによって低炭素社会の構築を目指すことを目的として、次の事業を行った。</p>

1 「星取県だよ！家電だって5つ星」 COOL CHOICE キャラバン

家電買い替えの効果を実感して購買意欲を高めると同時に、家電の使用方法を見直すことによる快適な省エネ行動を継続的に実施することを目的とした。

内容としては、イベント時にエコ縁日の中で釣り堀やストラックアウトなどの的などで、家電5つ星の内容が分かるように、自治会や民間団体が主催する様々なファミリー向けイベントにおいて、「星取(ほしとり)県」をモチーフとして発電体験や「家電的当て」等、5つ星家電のメリットを体験できる機会を提供する普及啓発を実施した。

①6月17日(月)キャンドルナイト in 境港 (境港市) 参加者約 250名

②9月18日(土)中海環境フェア 2018 (米子市) 参加者約 350名

③9月19日(日)鳥取市地産地消フェア (鳥取市) 参加者約 350名

2 「ソナな運転 de まだ損してるの？」 COOL CHOICE エコドライブ実践カフェ

エコドライブシミュレーターを用いた地元サッカーチームのホームゲーム等におけるブース(カフェ)出展をした。

子ども向けに開催し、親子で学び合えるよう配慮した。

①7月21日(土)COOL CHOICE in 天満屋 約 55名

②7月28日(土)ガイナール鳥取スペシャルマッチ 約 30名

③9月15日(日)COOL CHOICE 日吉津イオン 約 60名

④10月8日(月)とっとり水素祭り 約 45名

⑤11月14日(水)エコ端会議(環境大)～まだ損な運転？約 10名

⑥12月8日(土)こどもエコドライブ自動車学校 約 30名

⑦2月16日(土)とりエコ環境フェスタ 約 70名

3 木のエネルギーでスイーツづくり

薪ストーブ事業者と連携して薪ストーブに関する情報提供やペレットストーブを利用したエコクッキング、焚火で温まるイベントブースを出展し、木質バイオマスエネルギー導入促進と、暖かい場所に集まるウォームシェアを実施した。

日時：12月8日(土) クリスマスレクチャー

「木のエネルギーでスイーツづくり」

参加者約 300名 (約 11組の親子など)

4 中国四国地区推進員合同研修会の開催



中国四国ブロックの推進員を対象とした合同研修会を合宿形式で開催し、交流やワークを通じて互いの先進事例を共有するなど、推進員の普及啓発のスキルアップおよび活動の活性化を図った。

・実施時期：9月6日10時45分～7日12時30分まで

・実施場所：こうち男女共同参画センター「ソーレ」  
高知県(高知県高知市)

・実施対象：中国四国ブロックで活動する推進員

・参加人数：鳥取県から4名+スタッフ2名

・研修テーマ：

『維新ぜよ！中国・四国地域の温暖化防止活動』

～地域の実践活動に学び、つながりを強めよう～

中国四国各地の推進員活動の事例発表や、グループワークを通じて、個々の得意技や得意分野を活かした普及啓発の手法を考え、地域住民、各主体、自治体などのニーズを踏まえた啓発を実践できるよう、情報交換や実際のプログラム体験を行った。

#### 4 断熱ワークショップ支援事業

当初は鳥取県環境家計簿 WEB サイト「我が家のエコ録」の活用を予定したが、諸事情によりサーバーが停止し、データの管理等が困難になったため、以下のように事業内容を変更した。

温暖化対策や断熱、あるいはリフォームへの関心のある県民を対象として、断熱の意義や知識の普及、さらには具体的な対策のうち、安価で自分でもできる方法を系統立て実践的に学ぶことのできる、ある程度公開可能な場を提供することで、温暖化問題やエネルギーと健康や経済に関するリテラシーを持った地球温暖化防止活動の実践者を増やすように断熱ワークショップ実施支援を行った。

・実施時期及び会場

①2/2(土) 断熱ワークショップ BASE8823 (八頭町)

②2/24(日) 断熱ワークショップ カフェ七草 (米子市)

③2/25(月) 断熱ワークショップ振り返り カフェスマイル工場(鳥取市)

・参加者 断熱ワークショップ 40名

振り返り 20名

#### 5 連絡調整会議の開催

鳥取県地球温暖化防止活動推進センター事業について、関係各所との連絡調整を行うとともに、SDGsを切り口に情報交換および温暖化対策の質の向上を目指す当該会議を開催運営した。

・構成員

鳥取県、中国四国地方環境事務所、鳥取県地球温暖化防止活動推進員(東・中・西部より各1名)、市町村担当者(10名)、学生推進員代表、県内企業代表(6名)、イソリレーション、鳥取県地球温暖化防止活動推進セン

	<p>ター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営事務局：鳥取県地球温暖化防止活動推進センター</li> <li>・開催日時：1月28日</li> <li>・会場：鳥取県立倉吉体育文化会館研修室</li> </ul>	
事業費（財源）	4,616 千円	
	<p>(支出)</p> <p>事業費 4,616 千円</p>	<p>(収入)</p> <p>事業収入 4,600 円</p> <p>（一般社団法人地球温暖化防止 全国ネット補助金）</p> <p>その他 16 千円</p>

# 決算報告書

## 第9期

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

NPO 法人 ECO フューチャーとっとり

鳥取県鳥取市若葉台北一丁目1番1号

公立鳥取環境大学内

## 貸借対照表

NPO法人ECOフューチャーとっとり  
全事業所

[税込] (単位:円)  
平成31年 3月31日 現在

		《資産の部》	
<b>【流動資産】</b>			
(現金・預金)			
現金	21,982		
普通預金	882,466		
現金・預金計	904,448		
流動資産合計		904,448	
資産の部 合計			904,448
《負債の部》			
<b>【流動負債】</b>			
短期借入金	493,870		
未払金	621,000		
流動負債計		1,114,870	
負債の部 合計			1,114,870
《正味財産の部》			
<b>【正味財産】</b>			
前期繰越正味財産額	△ 254,833		
当期正味財産増減額	44,411		
正味財産計		△ 210,422	
正味財産の部 合計			△ 210,422
負債・正味財産合計			904,448

## 財産目録

NPO法人ECOフューチャーとっとり  
全事業所

[税込] (単位:円)  
平成31年 3月31日 現在

		《資産の部》	
<b>【流動資産】</b>			
(現金・預金)			
現金	21,982		
普通預金	882,466		
鳥取銀行	(753,133)		
山陰合同銀行	(129,333)		
現金・預金計	904,448		
流動資産合計		904,448	
資産の部 合計			904,448
《負債の部》			
<b>【流動負債】</b>			
短期借入金	493,870		
未払金	621,000		
流動負債計		1,114,870	
負債の部 合計			1,114,870
正味財産			△ 210,422

# 活 動 計 算 書

【税込】(単位:円)

NPO法人ECOフューチャーとっとり

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

<b>【経常収益】</b>		
<b>【受取会費】</b>		
正会員受取会費	31,000	
賛助会員受取会費	6,000	37,000
<b>【受取寄付金】</b>		
受取寄付金		321,186
<b>【受取助成金等】</b>		
受取補助金		3,854,000
<b>【事業収益】</b>		
受託事業収益		12,222,000
<b>【その他収益】</b>		
雑収益		152,923
受取利息		11
経常収益計		16,587,120
<b>【経常費用】</b>		
<b>【事業費】</b>		
<b>(人件費)</b>		
給料 手当(事業)	4,982,722	
通 勤 費(事業)	485,025	
法定福利費(事業)	583,883	
人件費計	6,051,630	
<b>(その他経費)</b>		
業務委託費(事業)	727,644	
諸 謝 金(事業)	257,240	
臨時雇賃金(事業)	3,247,605	
印刷製本費(事業)	876,047	
会 議 費(事業)	3,971	
旅費交通費(事業)	1,712,160	
通信運搬費(事業)	353,349	
消耗品 費(事業)	545,321	
賃 借 料(事業)	586,320	
保 険 料(事業)	10,812	
諸 会 費(事業)	8,160	
支払手数料(事業)	1,944	
雑 費(事業)	8,335	
その他経費計	8,338,908	
事業費計		14,390,538
<b>【管理費】</b>		
<b>(人件費)</b>		
臨時雇賃金	33,990	
業務委託費	50,800	
法定福利費	53,804	
人件費計	138,594	
<b>(その他経費)</b>		
諸 謝 金	277,280	
印刷製本費	58,590	
会 議 費	27,378	
旅費交通費	60,364	
通信運搬費	143,974	
消耗品 費	151,436	
賃 借 料	523,852	
諸 会 費	44,500	
租税 公課	553,000	

支払手数料	3,888	
雑費	88,315	
その他経費計	<u>1,932,577</u>	
管理費計		<u>2,071,171</u>
経常費用計		<u>16,461,709</u>
当期経常増減額		<u>125,411</u>
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		<u>0</u>
税引前当期正味財産増減額		<u>125,411</u>
法人税、住民税及び事業税		<u>81,000</u>
当期正味財産増減額		<u>44,411</u>
前期繰越正味財産額		<u>△ 251,833</u>
次期繰越正味財産額		<u><u>△ 210,422</u></u>
管理費計		<u>2,339,865</u>
経常費用計		<u>18,442,344</u>
当期経常増減額		<u>2,783,005</u>
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
返納金		<u>2,658,518</u>
経常外費用計		<u>2,658,518</u>
税引前当期正味財産増減額		<u>124,487</u>
法人税、住民税及び事業税		<u>81,000</u>
当期正味財産増減額		<u>43,487</u>
前期繰越正味財産額		<u>△ 47,839</u>
次期繰越正味財産額		<u><u>△ 4,352</u></u>

## 財務諸表の注記

NPO法人ECOフューチャーとっとり

平成31年 3月31日 現在

**【重要な会計方針】**

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

**(1). 消費税等の会計処理**

消費税等の会計処理は、本則課税方式によっています。

**【会計方針の変更】**

変更はありません。

**【事業費の内訳】**

事業費の区分は以下のとおりです。

(1/2)

[税込] (単位：円)

科目	地球温暖化 防止推進事業 (県委託事業)	ちびエコ・エコ活ノート出 前教室実施事業 (県委託事業)	自由研究ツアー実施事 業(県委託事業)		地域における地球温暖 化防止活動促進事業 (国補助事業)	一般会計 (県補助事業)
(人件費)						
給料・役員報酬	2,650,858	908,747	407,913		1,015,204	
通勤費	284,586	86,745	41,394		72,300	
法定福利費	287,547	106,337	40,445		149,554	
人件費計	3,222,991	1,101,829	489,752	0	1,237,058	0
(その他経費)						
業務委託費	115,000				572,644	40,000
諸謝金	163,100		20,940		73,200	
臨時雇賃金	1,380,070		678,525		1,174,860	14,150
印刷製本費	611,148		237,799		27,100	
会議費	3,971					
旅費交通費	688,201	191,292	305,059		527,608	
車両燃料費						
通信運搬費	314,495	2,050	10,998		25,806	
消耗品費	204,382		210,072		75,867	55,000
貸借料	115,328	10,819	414,493		45,680	
保険料			9,192			1,620
研修費						
諸会費	8,160					
支払手数料	1,944					
雑費			6,895			1,440
その他経費計	3,605,799	204,161	1,893,973	0	2,522,765	112,210
合計	6,828,790	1,305,990	2,383,725	0	3,759,823	112,210

(2/2)

[税込] (単位：円)

科目			事業費合計	管理費合計	合計
(人件費)					
給料・役員報酬			4,982,722		4,982,722
通勤費			485,025		485,025
法定福利費			583,883	53,804	637,687
人件費計			6,051,630	53,804	6,105,434
(その他経費)					
業務委託費			727,644	50,800	778,444
諸謝金			257,240	277,280	534,520
臨時雇賃金			3,247,605	33,990	3,281,595
印刷製本費			876,047	58,590	934,637
会議費			3,971	27,378	31,349
旅費交通費			1,712,160	60,364	1,772,524
通信運搬費			353,349	143,974	497,323
消耗品費			545,321	151,436	696,757
貸借料			586,320	523,852	1,110,172
保険料			10,812		10,812
諸会費			8,160	44,500	52,660
支払手数料			1,944	3,888	5,832
雑費			8,335	88,315	96,650
租税公課				553,000	553,000
他会計繰出金					0
その他経費計			8,338,908	2,017,367	10,356,275
合計			14,390,538	2,071,171	16,461,709

前事業年度（平成30年度）の年間役員名簿

（特定非営利活動法人 ECOフューチャーとっとり）

役職	氏名	住所または居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	根本 昌彦		平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	
副理事長	衣川 益弘		平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	
副理事長	山本 ルリ コ		平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	平成30年4月 1日～平成31 年3月31日
理事	宮崎 靖大		平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	
監事	足利 裕人		平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	



社員のうち10人以上の者の名簿

(特定非営利活動法人 ECO フューチャーとっとり) 平成30年度

氏 名	住 所 又 は 居 所
根本 昌彦	
衣川 益弘	
山本 ルリコ	
宮崎 靖大	
足利 裕人	
幸本 伊織	
中嶋 杏奈	
中尾 ひとみ	
服部 健也	
牧園 善樹	